



プーシキン

生誕225周年
記念

リムスキー＝ コルサコフ

生誕180周年
記念

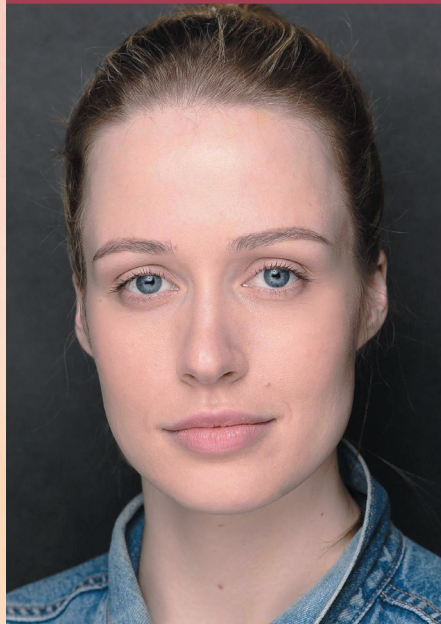


日ロ国交回復68周年
モスフィルム創立100周年

煌めく詩と歌の世界 ～時を超えて～

詩の朗読:

ロシアの人気TV司会者
マリヤ・カルポワ



生誕225周年を迎えるアレクサンドル・プーシキン、
生誕180周年を迎えるリムスキー＝コルサコフの
ロシア歌曲やロシアオペラを、ロシア国立マリイン
スキー劇場と繋いで、夢のような心に響く詩と歌声
をお届けする。

詩の朗読作品

プーシキン作
秋
「ヌーリン伯爵」の冒頭
詩人
こだま
詩人が行く
冬の朝
さわがしい街をさまよふときにも
頬の赤い批評家よ
呪文

(朗読する詩の作品は変更場合があります)

演奏プログラム

キューイー/
プーシキン
私はあなたを愛した
チャイコフスキー/
プーシキン
騒がしい舞踏会のなかで
リムスキー＝コルサコフ/
A・K・トルストイ
高みから舞う風のように…
リムスキー＝コルサコフ/
プーシキン
お前に語る甘く悩ましい私の声
ほか

*出演者・演目などが予告なく変更される場合がございます。
ご了承ください。

バリトン:

ミハイル・
ガヴリーロフ
(マリインスキー劇場)



ソ프라ノ: 中村初恵



2024年

10月22日(火) 銀座・王子ホール

24日(木) さいたま・さいたま市文化センター小ホール

両日とも18:00開場 18:30開演 全席指定 入場料6,000円

チケット・問合せ: 株式会社ロシアン・アーツ ☎03-5919-1051 (平日11:00-17:00/e-mail:russian-arts@e-mail.jp)

主催/ロシア文化フェスティバル組織委員会/ロシアン・アーツ

後援/ロシア連邦文化省、駐日ロシア連邦大使館、ロシア連邦文化協力庁、日ロ協会、INARTEX、モスフィルム



プーシキン

生誕225周年記念



アレクサンドル・プーシキン

Александр Сергеевич Пушкин

アレクサンドル・プーシキン (1799~1837) はいうまでもなく近代ロシア文学を確立したロシア最大の国民詩人です。ロシア文学における功績はイギリス文学におけるシェイクスピア、ドイツ文学におけるゲーテ以上のものといって過言ではありません。ニコライ・アンドレイェヴィチ・リムスキー=コルサコフ (1844~1908) は「五人組」の最年少者としてロシア国民楽派音楽を集大成しました。管弦楽法の大家であり、自身の華麗な管弦楽曲や彼が行った先輩たちの未完の作品の補筆完成や改訂版によって、ロシア国民楽派は国際性を獲得しました。二人の功績を称えて、まずグリムカ、キュイ、チャイコフスキーそれにリムスキー=コルサコフによるプーシキン歌曲を紹介します。またプーシキンの詩をロシアの女優で人気TV司会者のマリヤ・カルポワが朗読で紹介します。

(石田一志)

リムスキー=コルサコフ

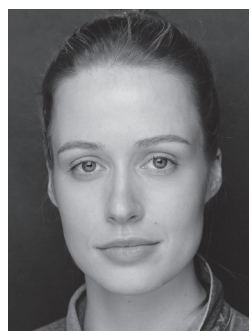
生誕180周年記念



リムスキー=コルサコフ

Николай Андреевич Римский-Корсаков

マリヤ・カルポワ Мария Карпова



ロシアの劇場・映画俳優、テレビ人気司会者。ラトヴィア大学哲学学部を中退し、モスクワの全ロシア国立映画大学に入学。ウラジーミル・メニショフに師事。2013年に同大俳優学部を卒業。

大学在学中にV・メニショフ演出の舞台「喋る壺者」で舞台デビュー。P・イヴァノフ演出の「ライ麦畑でつかまえて」にヒロインのサニー役で出演。この劇に6シーズン連続で出演した。

大学卒業後、「ロシア社会テレビ」司会者のオーディションを受け、番組「カレンダー」の司

会者となる。この番組は高評価を得、現在はウイークデーの朝のショー「OTRazhenie」、土日には「OTRazhenieウイークエンド」に出演している。

俳優としては、2007年に「いて座の時代」で映画デビュー。2012年K・シャフナザーロフ監督映画『ホホワイトタイガー』のエピソードシーンに出演。その後、映画「終わりのない道」に主要な役どころで出演。2015年、シャフナザーロフ監督「ベルリンへの道」に出演。同年、ドラマ「峡道」で主要な人物の一人として出演。K・シャフナザーロフ監督作品「アンナ・カレニナ」(2017年)にも出演。映画出演=2007年「いて座の時代」、2012年「ホホワイト・タイガー」、2014年「終わりのない道」、2015年「ベルリンへの道」、2015年「峡道」、2017年「アンナ・カレニナ」、2017年「12の奇跡」。テレビ番組=「カレンダー」、「OTRazhenieウイークエンド」【OTRazhenie】。

長尾洋史(ピアノ)



東京藝術大学、同大学院修士課程を修了。安宅賞を受賞。宗廣祐詩、遠藤道子、米谷治郎の各氏に師事。1995年、パリ・エコールノルマルに留学。NHK交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団など主要オーケストラとの共演、ソロ・リサイタル、多数の国内外の作品初演、主要音楽祭、NHK等のメディア出演のほか、国内外の管楽器、弦楽器奏者と共演など、その活動は多岐にわたる。CDリリース多数。透明で芯のある美しい音、緻密で精巧なテクニックの中に、熱くみずみずしい音楽を聴かせることのできる数少ない演奏家である。

中村初恵 Хацуэ Накамура



「歌・祈り」をテーマに歌い続けるソーシャルアーティスト。東京音楽大学声楽科卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。マリインスキー劇場のオーディションに現地にて合格。長きにわたりソリストとして所属。指揮者ゲルギエフやテミルカーノフと共演。2015年ドイツ・ヴェルツブルク音楽院に奨学金を得て短期留学。宗教曲を学ぶ。2012年ニューヨークに給費留学。病院にて音楽療育・音楽療法の

研修を受ける。「国際リムスキー=コルサコフオペラコンクール」にてリムスキー=コルサコフ特別賞を授与。「エレナ・オブラストツォフ国際声楽コンクール」にて優秀歌唱賞、サンクトペテルブルク市の芸術文化財団より「我が街の音楽家」の称号を授与ほか、受賞多数。東京文化会館など主要ホールで毎年リサイタルが開催されてきた。また、オペラやミュージカルのタイトルロール、オーケストラとの共演、宗教曲ソリストなど、出演は幅広い。ロシア歌曲においては詩の翻訳、日本語訳詩を務める。本年、珠玉のロシア歌曲を中心とした中村初恵のソノアルバムがディスククラシカよりリリース予定。

ミハイル・ガヴリーロフ Михаил Гаврилов



サンクトペテルブルク・リムスキー=コルサコフ音楽大学指揮・合唱科卒業。サンクトペテルブルク文化芸術大学芸術学部声楽・合唱科卒業。ロシア国立教育大学音楽・演劇振付研究所卒業、教育学修士。ロシアゲルツェン国立教育大学大学院修了。ロシアの「才能ある若者財団」奨学金を授与。V・V・プーチン大統領、大統領評議会から感謝状、サンクトペテルブルク立法議会議長功労賞を授与。国際音楽コン

クール「ヨーロッパへの窓」のディプロマ受賞、セルゲイ・ライフェルクス国際オペラ・コンクール準グランプリ、ガッチナ・シュワルツ・ロマンシアード賞受賞など、国内外のコンクールで受賞多数。子役よりマリインスキー劇場でソリストとして活躍。インド、エストニア、ギリシャ、イタリアにて多数出演。日本では2017年、2019年ロシア文化フェスティバル公式プログラム枠内のコンサートツアーに出演。2018年、ロシア1テレビ放映のシリーズ「キルサノワ夫人の秘密」では、写真家兼アーティストの役で出演。2020年には、モスクワのTVCチャンネルで司会を担当。TVチャンネル「RussiaK」の番組「ロマンス・オブ・ロマンス」、「ロシア1」の番組「Come on, all together」でメインキャストを務める。現在サンクトペテルブルク人道主義労働組合大学准教授。